



本会議一般質問に初登壇

県議会議員としての初登壇から約9カ月が過ぎましたが、定例会や各種委員会、県内外視察など、議員として様々な業務に取り組みました。また、地元藤沢市だけでなく、周辺地域の市町のみならず、様々なご要望やご意見を頂戴し、それらを県政に届けてまいりました。

そして、直近の定例会では、12月5日の本会議一般質問に初めて登壇させて頂きました！今回は、その内容を中心に公明党神奈川県議会議員団の活動について、ご報告させていただきます。



第3回定例会 後期(11月～12月) 県議団代表質問から

くらし

物価高騰から 県民生活を守る



11月24日、公明党県議団として、物価高騰から県民生活を守るための緊急要望を知事に手交。そこには、LPガス料金の負担軽減措置をはじめ、福祉施設や医療機関および私立学校への補助、貨物輸送や農林水産業、一般公衆浴場等の事業者への支援なども入っています。

12月1日の代表質問では、「LPガス料金の負担軽減策」について、事務作業が煩雑だとして参加されない事



知事に緊急要望

業者もいたことから、支援スキームの見直しを含め、重点支援地方交付金を効果的に活用し、物価高騰から県民の生活を守る対策を着実かつ迅速に実行することを求めました。

県はさっそく、12月5日に補正予算案を上程、18日に可決成立。これには、先の項目以外にも、公明党が提案した中小・小規模企業者への支援として経営行動計画書の作成が不要な小口融資の創設や特別高圧電力利用者への支援が盛り込まれています。

医療

救急医療の電話相談 「#7119」全県展開へ！



「#7119」は体調が悪化したときに「救急車を呼んだほうがいいのか」などについて、24時間、電話で相談に応じるサービスです。県内では、横浜市が先行して実施していますが、公明党県議団は平成28年の一般質問から継続して、全県での実施を提言してきました。

今定例会において県は、「医師の働き方改革」に伴う救急医療への影響が懸念される中、「県が実施主体」となって全県展開する方針を決定しました。

また、早期の全県展開に向け、まずは横浜市と、具体的な運用や県が主体となる体制への移行時期などについて調整することを表明するとともに、公明党の提案を受け、県が全県を対象に行っている子どもの救急ダイヤル「#8000」との連携や、LINEなどの様々なデジタル技術の活用についても言及しました。

安全
安心

犯罪被害者と その家族に見舞金制度



県はこれまで、犯罪被害者への経済支援について、全国に先駆けて貸付金制度を創設し運用してきました。しかし、用途が限られているうえ、返済が必要であることから利用は進まず、15年近い運用の中で実績は8件にとどまっています。

そこで公明党は、全国的に見舞金主流となり、県内でも制度化する市町が増え、経済支援の地域格差が生じていることから、本年2月の代表質問で、県による返済不要の見舞金の制度化を提案しました。

また、県が、県内における被害者支援の実態を調査したところ、自宅等で被害に遭った被害者の転居に対する支援ニーズが高いことが明らかになりました。

今定例会の代表質問に対し、知事は、利用が低調な貸付金に替え、返済不要な県下一律の見舞金制度を、被害者の転居を含めた様々な支援ニーズに対応できる金額を想定し、導入することを明示しました。

健康

HPVワクチン接種、 キャッチアップ世代は来年度まで！



子宮頸がん等を予防するHPVワクチンは、公明党の提案から、小学校6年生から高校1年生までの女子を対象とした定期接種となりましたが、接種後の健康被害への懸念で積極的な勧奨が停止されていた期間があり、接種率が激減。我が国は先進国の中で最も、子宮頸がんの発生率、死亡率が高くなっていました。

そこで国は、勧奨停止期間に対象となっていた方が無償で接種できる、いわゆる「キャッチアップ接種」を来年度まで実施していますが、県として、こうした情報と併せ、積極的に接種を呼び掛けるべきと提案しました。

知事からは、「市町村と連携して、広報を行う他、対象者に接種券を送る際に、効果や安全性がわかるリーフレットを同封するなどにより、接種の促進を図っていく。また、男性にも中咽頭がんの予防などの効果が高く、日本以外のG7各国では男女とも定期接種になっていることから、県のホームページに男性のワクチン接種の啓発をするとともに、接種に対する補助などについても検討に入る。」との答弁が得られました。

情報

伝わる広報の実現へ、 リンク切れを根絶



今回、私の独自調査がきっかけで、県の公式ホームページ約53,000ページのうち9%にあたる4,668ページが、情報へアクセスできない「リンク切れ」の可能性があることが分かりました。リンク切れは、利用者が情報を取得できるか否かに関わる重要な問題であるため、部局横断で速やかに解消に向けて取り組むよう強く求めました。

知事からは、「リンク切れについて詳細な原因の調査を行うとともに、ホームページの運用を所管する部署とシステム部署が連携して定期的にチェックを行うことにより、リンク切れページの解消を目指す。また、リンク切れを発生させない仕組みについても検討する。」との答弁が得られました。

※この質問については、全国紙を始め多くの新聞に掲載されました。

介護

介護支援専門員の 負担軽減を図れ



現在、介護支援専門員(ケアマネージャー)は全国的に不足しており、その要因として、資格更新の際の法定研修の重い負担や事務作業の増加等が挙げられています。

法定研修の受講料は各都道府県が独自に決定しており、実務経験のある資格者が初めて資格を更新する場合、受講時間はトータルで88時間、神奈川県内の受講料は計75,400円です。

そこで私は、独自に調査を行い、東京都は同様の研修の受講料が「地域医療介護総合確保基金」を活用して58,300円、埼玉県は独自の減免措置によって55,000円と、本県よりも大幅に安くなっていることをつきとめ、県として介護支援専門員の負担軽減に取り組むよう強く訴えました。

県からは、ICT環境整備のワンストップ型相談窓口の設置や、アドバイザー派遣等様々な支援策を検討し、さらに、法定研修の受講料についても、負担軽減等を検討していくとの答弁が得られました。

中小企業

休業・廃業の専用窓口を



これまでの中小企業政策は、中小企業が困難な状況を乗り越え、持続的に成長して行けるよう支援していくことに主眼を置いてきましたが、今後はそれに加えて、様々な事情から事業を閉じることを検討している事業者が、円滑に事業整理するための支援も必要であると提言を行いました。

県からは、休業・廃業に係る相談について、今後、専用窓口の設置を検討※するとともに、中小企業にとって身近な商工会・商工会議所等の支援機関が相談を拾い上げ、着実にKIP(神奈川県産業振興センター)の支援へと繋いでいけるよう連携強化を働きかけるとの回答がありました。

※その後、2024年1月をめどに専用窓口が設置されることになりました!

子ども

保育の質の向上へ、 研修を充実



近年、全国各地の保育所で児童に対して、頭を叩いたり怒鳴ったりするといった不適切保育が相次いで発生し、社会問題となっています。幼少期に心に傷を負ってしまうとその影響は多大であることから、何よりも未然防止の取組が重要であると考え、不適切保育防止のための研修実施を提言しました。

併せて、保育士が発達障がいのある子どもに気づき、保護者への適切なアプローチを行い、早期療育につなげるための研修の実施についても提言を行いました。

知事からは、「不適切保育の防止や障がい児保育に関する、より深い知識を習得するための研修を新たに行う。また、研修の実施に当たっては、より多くの保育士が受講できるよう動画視聴によるeラーニングなど、時間や場所の制限なく受講できる環境を整える。」との答弁が得られました。

教育

役職定年を迎えた ベテラン教員の活躍を



令和4年度に全国の小・中・高等学校から報告のあった自殺した児童生徒は411人。昨年度から43人も増えるなど、行き場のない悩みに苦しむ子どもが急増しています。その背景として、虐待や複雑な家族関係、ヤングケアラーの問題、SNSによる見えないいじめ等が増加していることや、新型コロナウイルス感染症の蔓延による友人関係の希薄化なども一因として考えられるなど、学校現場は複雑かつ多岐にわたる課題が山積しています。

今年度から教員の定年引上げ制度が導入され、学校管理職の中には60歳を超えると管理職でなくなる方もいる現状を踏まえて、そうした方々に、教員人生の中で培ってきた知識・経験を活かして教育現場の抱える様々な課題に積極的に関わってもらえるよう、神奈川県独自の運用ができないか、所見を問いました。

県からは、役職定年後の管理職経験者に、今までの知識・経験、ノウハウを活用して、学校が抱える重要な課題に積極的に関与する役割を担ってもらえるよう、運用を工夫していくとの前向きな回答が得られました。



地域のために動きます! 公明チーム3000のネットワークで実現!



市議↓おだ県議
30年来的の要望実現!
鳥井戸橋交差点の青信号が長くなりました!



町議↓おだ県議
県営住宅の階段の手すりが伸びて安全に!



おだ幸子プロフィール◎神奈川県藤沢市辻堂東海岸在住◎2023年4月神奈川県議会議員選挙初当選◎中小企業診断士◎MOT(技術経営修士)◎明治大学政治経済学部・日本工業大学専門職大学院卒業◎大手損害保険会社に総合職として入社し29年間勤務◎家族は夫と息子(大学生)とハリネズミ◎趣味は読書・ドライブ・ものづくり◎議会所属委員会:環境農政常任委員会、産業振興・環境対策特別委員会、決算委員会◎団役職:政務調査副会長

みなさんの声をお寄せください

【連絡先】神奈川県議会公明党控室 045-210-7630 おだ幸子 <https://lit.link/odasatiko>



HP、SNSはこちら